

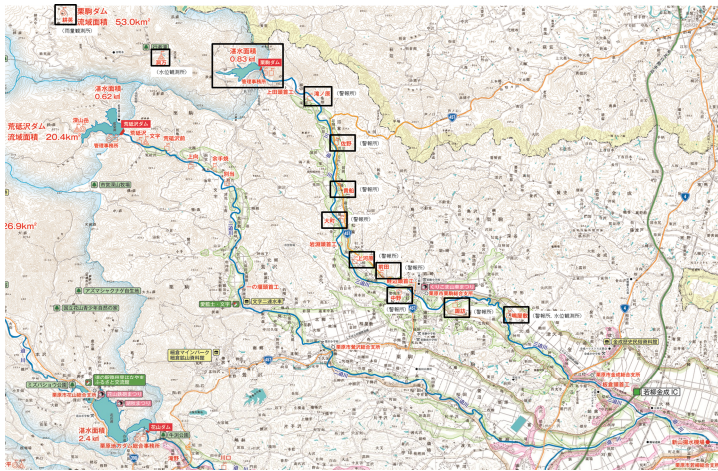
一級河川北上川水系 三迫川 栗駒ダムの効果(令和8年6月21日)

宮城県

○栗駒ダムでは、令和8年6月21日低気圧の影響により、**流域平均の累計雨量が194mm、最大時間雨量では、13mm**を記録しました。これによるダムへの最大流入量は、計画1,113m³/sに対し、**68.96m³/s**を記録しました。

○今回の洪水調節により**最大流入時の76.2%(52.55m³/s)**を貯留し、下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



栗駒ダムの洪水調節実績

・洪水調節	1回目 開始	21日 11時 10分	終了	21日 12時 50分
	2回目 開始	21日 16時 50分	終了	21日 17時 50分
・ダム流域累計雨量		194 mm	(19日 19時 ~ 21日 19時)	
・最大時間雨量		13 mm	(14日 9時 ~ 14日 10時)	
・ダムへの最大流入量		68.96 m ³ /s	(21日 11時 50分)	
・最大流入時の放流量		16.41 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量		52.55 m ³ /s	(約 76.2%)	

ダムの状況写真



貯水池 ダム堤体上流
(撮影:6月22日10時00分)



放流設備 ダム堤体下流
(撮影:6月22日10時00分)

栗駒ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 76.2% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
16.41 m³/s

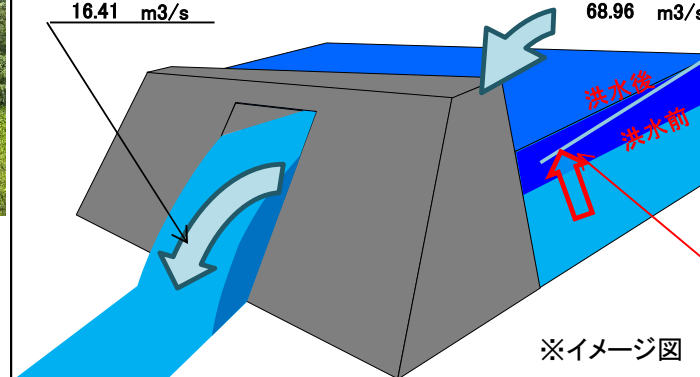
最大流入量
68.96 m³/s

洪水調節開始時の貯水位
1回目 192.18 m
2回目 194.08 m

洪水調節時の最高貯水位
1回目 192.81 m
2回目 194.37 m

最大貯留量
289 千m³

0.63 m上昇



一級河川北上川水系 三迫川 栗駒ダムの効果(令和8年6月21日)

宮城県

○栗駒ダムの洪水調節等により、この鳴屋敷地点で、**水位を約0.16m低減させる効果**があったものと推測され、河川がはん濫する危険を軽減し、三迫川沿岸市街地の洪水被害の防止に努めました。

下流河川の状況写真



(上流を望む)

6/22 10:20 水位 1.50m

【洪水後】栗駒ダム下流 岩ヶ崎地点



(下流を望む)



(上流を望む)

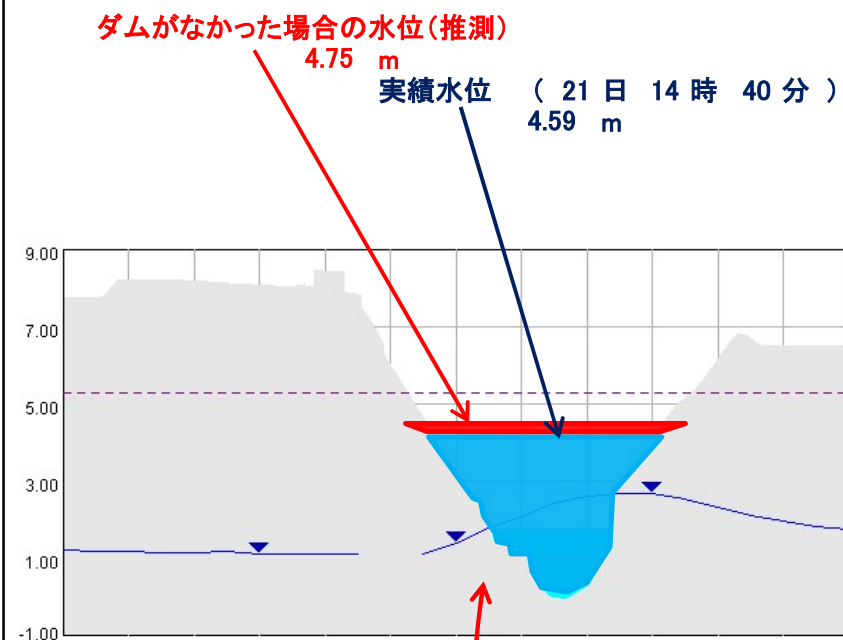
6/22 10:40 水位 2.87m

【洪水後】栗駒ダム下流 鳴屋敷地点



(下流を望む)

三迫川(鳴屋敷地点)の水位低減効果



ダムにより約0.16mの
水位低減効果を推測